

留学生向け現場見学会の開催報告(国際センター留学生グループ)

留学生グループでは、日本で学ぶ留学生に日本の最先端の土木技術を知ってもらうとともに、土木関連企業に関する情報提供を目的として、2014年12月5日に留学生向け現場見学会を大阪にて開催しました。今回は留学生グループの行事として初の関西圏での開催となり、関西圏の大学に所属する留学生の方々にご参加いただきました。西日本高速道路(株)のご協力を頂き、2現場の見学および5社からの企業説明をしました。参加留学生は20名でした。

《見学現場》

- ・西日本高速道路(株)新名神大阪西事務所
- ・箕面トンネル東工事(施工:大成建設(株))
- ・芥川橋工事(施工:三井住友建設(株))

《企業説明会参加企業》

西日本高速道路(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、大成建設(株)、三井住友建設(株)

現場見学では、最初に箕面トンネル東工事の施工現場を訪問し、現場で用いられている施工技術に関するプレゼンを受けた後、現在施工中のトンネル坑内を見学しました。トンネル切羽目前まで迫り、大型重機などが設置されている中、参加した留学生たちは活発に質問を投げかけるなど熱心に見学を行いました。

つづいて、芥川橋工事の施工現場を訪問しました。地上20mを越える高架橋の上部に上り、桁の内部からその施工方法や取り入れられている技術に関する説明を受けました。最初に訪問したトンネル現場とは異なる迫力に、留学生たちは圧倒されつつも非常に興味を持った様子でした。

両現場では、留学生として日本の大学で土木を学んだ後、日本の企業に就職し、活躍されている職員の方がおられ、留学生は土木技術を学ぶとともに、現場における苦労など体験談を直接聞くことができました。



箕面トンネル東工事にて



芥川橋工事にて

企業説明会では、今回見学した現場の発注者、施工者を含む、計5社の方々より10分ずつのプレゼンがあり、プロジェクトや業務内容、海外展開等に関する情報が提供され、留学生は熱心に聴講しました。その後、懇談会が行われ、参加いただいた皆様との交流とともに、留学生は土木技術に関する情報や企業の詳細などを収集しました。

今回は、留学生グループとして初めての関西圏での行事開催となりましたが、このような機会に対する留学生の関心の高さを改めて感じる事となりました。今後、留学生グループでは、参加者からのご意見を反映させるなど、開催方法を改善しながら継続的(年1回程度)に開催することで、全国各地の留学生が企業とコミュニケーションできる機会を提供していきます。

最後になりましたが、本行事の開催に多大なご協力を賜りました、西日本高速道路株式会社の三井様はじめ関係各位にこの場をお借りしまして、感謝の意を表します。

【記: 国際センター留学生グループ】